

保護者様

令和6年2月22日

富士市立元吉原小学校  
校長 田中 成人

## 令和5年度第2回学校評価アンケート集計結果について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本校は今年度も「自分で みんなで さいごまで」を重点目標に掲げ、日々の教育活動に取り組んでまいりました。また、コミュニティ・スクールとしても4年目を迎え、元吉原地区の皆様の多大なるお力添えをいただき「地域とともにある学校」を目指して教育活動を進めてきました。

このような教育活動により、子供たちにどのような力が育まれているかを検証し、成果と課題を令和6年度からの教育活動につなげていくため、12月に子供たちと保護者の皆様に学校評価アンケートを実施させていただきました。

学校評価アンケートの結果を集計いたしましたので、ご報告いたします。

## 令和5年度のキーワード「自分らしさ」

本校は、「一人一人が安心して自分らしさを発揮できる学校」を学校経営方針とし、日々の教育活動に取り組んでまいりました。

後期学校評価の結果、子供たちの多くが「自分らしさ」を発揮できていると感じ、安心して学校生活を送ることができているようです。

令和6年度からも、引き続き一人一人が自分のよさや可能性を発揮でき、仲間と認め合えるような「安心・安全」な学級づくり・学校づくりを進めていきます。



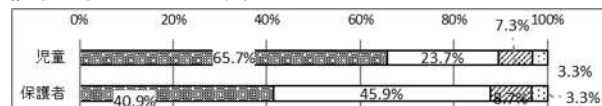
評価段階は、すべて「とてもそう思う」「少しそう思う」「あまり思わない」「ぜんぜんそう思わない」の4段階です。

目標値（グラウンドデザインに示されたもの）、児童・保護者の割合は、「とてもそう思う」と「少しそう思う」を合わせた肯定的な評価の割合です。（ ）内は、令和5年度前期の数値です。

### ◎子供が学びを実感する授業を創る

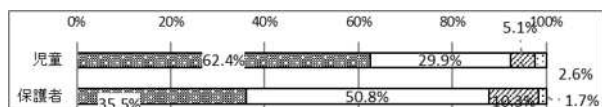
学校生活の中心である「授業」が、子供たちにとってより魅力的で楽しくなることを全校で目指していきます。また、自ら問いをもって学びを進められる子を育てていきます。

授業が楽しいと思います。



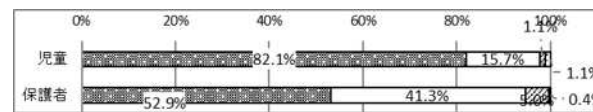
目標値 95%  
児童 89.4% (90.1%)  
保護者 86.8% (88.8%)

授業でやっている学習がわかります。



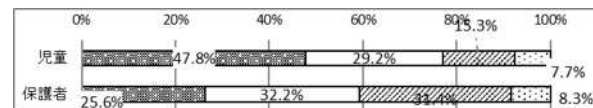
目標値 95%  
児童 92.3% (92.6%)  
保護者 86.4% (86.4%)

授業でICT機器（パソコンやタブレットなど）をつかっています。



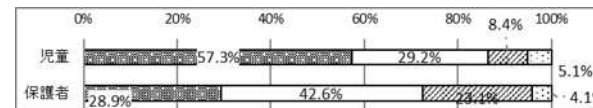
児童 97.8% (90.8%)  
保護者 94.2% (95.6%)

学校で、すすんで読書をしています。



目標値 80%  
児童 77.0% (82.7%)  
保護者 57.9% (64.0%)

毎日、自分からすすんで家庭学習をしています。



目標値 90%  
児童 86.5% (89.3%)  
保護者 71.5% (80.4%)

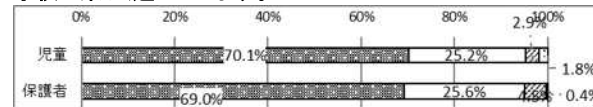
子供たち一人一人が安心して自分のよさや可能性を發揮しながら、ICTを効果的に活用して仲間と課題解決できる授業づくりを進めます。学校生活の中心は「授業」ですので、すべての子供にとって「授業」がより魅力的で楽しくなることを全校で目指していきます。

読書や家庭学習への取組には課題が見られました。土日の読書や「えがオン学習（探究学習）」などを通して、自ら問いをもって進んで調べたり表現したりする子を育てていきたいと考えます。各ご家庭でも、引き続き家庭学習の見届けや励ましをよろしくお願ひします。

### ◎よさに向かって一歩踏み出す集団(個)を創る

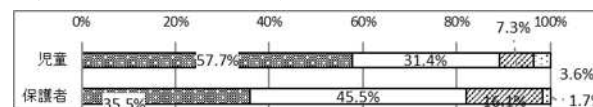
子供たちが主体となって取り組む行事やイベントが増えています。言葉遣いが課題となっているので、子供たちとともによりよい言語環境について考えていきます。

学校に楽しく通っています。



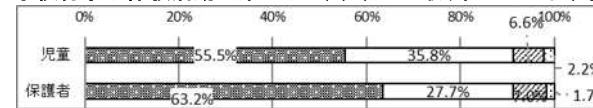
目標値 100%  
児童 95.3% (94.5%)  
保護者 94.6% (96.8%)

大変なこともあきらめないで、最後までがんばっています。



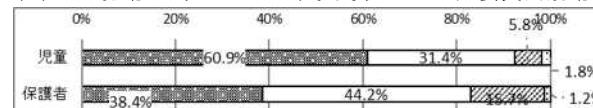
目標値 90%  
児童 89.1% (88.2%)  
保護者 81.0% (84.4%)

学校行事や体験活動が楽しみで、すすんで取り組んでいます。



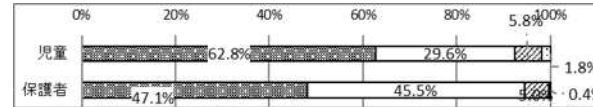
目標値 90%  
児童 91.2% (89.7%)  
保護者 90.9% (95.2%)

すすんで行動しようとしています。(そうじ・かかり・委員会活動など)



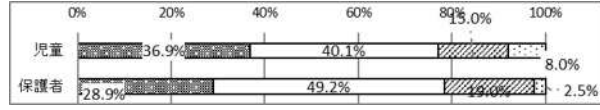
目標値 95%  
児童 92.3% (92.6%)  
保護者 82.6% (87.6%)

友達に親切にしたり、はげましたりしています。



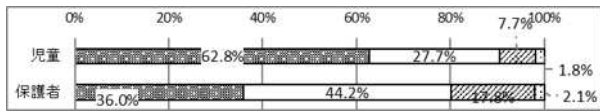
児童 92.3% (92.3%)  
保護者 92.6% (93.2%)

やさしい言葉づかいで話しています。



児童 77.0% (84.6%)  
保護者 78.1% (86.0%)

友達や先生、地域の人にすずんであいさつをしています。



目標値 90%  
児童 90.5% (93.8%)  
保護者 80.2% (82.8%)

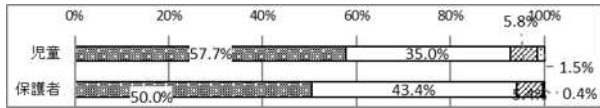
多くの子供たちと保護者の皆様が、「学校に楽しく通うことができている」と評価しておりうれしく思います。本年度は、委員会だけでなく、学年や学級でも子供たちが主体的に行う行事やイベントが多く見られるようになりました。これは、来年度に継続していきたいです。

友達に対するの優しさは、本校の子供たちのよさです。しかし一方で、言葉遣いについては子供たち自ら課題に感じているようです。「言葉遣い」は「心遣い」とも言われます。今後は、よりよい言語環境について子供たちと考える機会を持ちたいと思います。また、あいさつは、校外外を問わず元気なあいさつが増えていきます。今後は、学校と家庭、地域が一体となって気持ちのよいあいさつが響く元吉原地区をつくっていきたく思います。

### ◎自分らしさを大切に作る集団(個)を創る

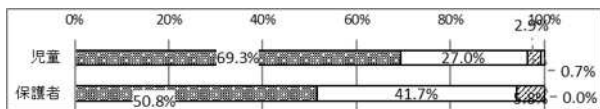
「自分らしさをだして生活することができる」と肯定的に回答する子供の割合が高くなりました。今後も「安心・安全な学校づくり」を推進します。

自分らしさをだして生活することができます。



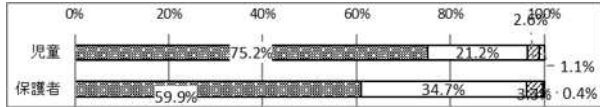
【新規項目】  
児童 92.7% (90.4%)  
保護者 93.4% (95.2%)

自分や友達の命を大切にするため、考えて行動できています。



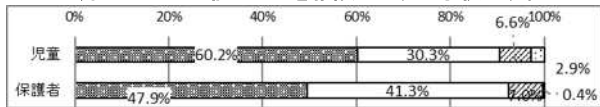
目標値 100%  
児童 96.4% (95.2%)  
保護者 92.6% (92.8%)

元小は、自分のがんばりや努力が認められる学校です。



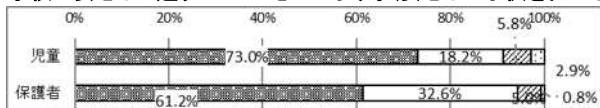
目標値 100%  
児童 96.4% (93.8%)  
保護者 94.6% (96.0%)

元小は、困ったことや悩みごとを相談しやすい学校です。



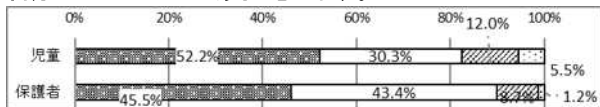
児童 90.5% (93.4%)  
保護者 89.3% (91.6%)

学校に安心して通うことができます。(安心して子供を任せられる学校)



目標値 100%  
児童 91.2% (94.9%)  
保護者 93.8% (96.8%)

自分にはよいところがあると思います。

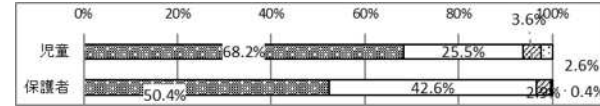


目標値 90%  
児童 82.5% (84.2%)  
保護者 88.8% (90.4%)

「自分らしさをだして生活することができる」と肯定的に回答する子供の割合が高いことが分かりました。このことは、「元小は、自分のがんばりや努力が認められる学校」への高い評価との関連が強いと考えます。来年度も、子供たちが自他のよさに気づき、互いを尊重しながら自分らしく生活できる「安心・安全な学校づくり」を全校で推進してまいります。今後も、学校、保護者、地域の皆様の多くの目で、子供一人一人のよさを価値付け、子供たちを育てていきましょう。ご協力をよろしくお願いいたします。

### ◎コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールとして、地域の人が協力してくれると学習がよくわかります。



児童 93.8% (94.1%)  
保護者 93.0% (92.0%)

令和5年度後期も、多くの保護者の皆様や地域の方がボランティアとして活動してくださいました。本校は、コミュニティ・スクール(CS)として4年目を迎え、子供たち、保護者の皆様共に、地域の皆様のお力添えによって豊かな学びが実現できていると評価されました。

CS活動の取組の様子は、今後も学校ホームページやCSだより等で随時お伝えしていきます。ふれあい協力員(ボランティア)に参加して下さる方も募集しておりますので、ご登録をよろしくお願いいたします。

### ◎保護者の皆様からいただいた主なご意見

本校の教育活動をよりよくしていくためのご意見・ご提案を多数いただきありがとうございます。いただいたご意見は、令和6年度からの教育活動に生かしてまいります。すべてにお答えすることはできませんが、現時点における学校の対応をお伝えします。

いただいたご意見(要約)	学校からの回答
コロナで縮小、省略された行事(持久走大会)は、このままなくなってしまうのでしょうか?子供たちの頑張りを見る機会はなくなってしまうのでしょうか?	・コロナ禍が一つの契機となり、長年「当たり前」で続けてきた教育活動も、子供たちに必要とされる力を育成する視点からその意義を見直しています。限られた時間の中で、より子供たちが育つ行事の在り方を考えてまいります。【学校行事】
授業中や学校生活を落ち着いて過ごせない子に対して、先生や学校がしっかり対応してもらいたいです。	・学級担任だけでなく、学校全体でサポートし安心・安全な学習環境となるよう努めていきます。周りの子供たちや保護者の皆様のご理解やご協力もいただきながら、どの子も安心・安全に過ごせる学校づくりを進めていきます。【生活指導】
宿題を学校でやってもいいようにして欲しいです。学校の課題は学校で完結させるのが望ましいです。	・毎日、家庭学習の見届けをしてくださりありがとうございます。量や内容等がご家庭の負担になっている場合は、学校で検討してまいります。学校以外でも学ぶ家庭学習により、自ら学ぶ習慣や自己管理能力も向上します。今後は、より主体的に学ぶように、興味・関心に応じて探究する(えがオン学習)も推進していきます。【家庭学習】
毎週えがオン学習があって、他のお子さんのえがオン学習も見せてもらったことがあり興味深いと思いました。交流する機会があると、自分の知らない世界を知れるきっかけになるかなって思いました。	・今年度から始めた「えがオン学習(探究学習)」を楽しんで取り組んでいる子も多いです。学んだことを仲間に伝えたり、仲間の興味・関心を知ったりすることはとても意味があると思いますので、交流の場を検討してまいります。【えがオン学習】
誰もいじめの加害者、被害者にならないよう、人としての心の成長にもしっかり取り組んでほしいです。安心して誰もが登校できる学校づくりをお願いします。	・いじめは、決して許されないことです。一人一人がこの問題の重大性を認識していじめの兆候をいち早く把握し、家庭と連携して迅速に対応します。気になることは学校にご相談ください。【いじめ問題】